

図書館報

2016 SPRING vol.33

# SEASON



写真：中央図書館 2 階より桜を望む

ISSN 1349-3760



図書館長 新年度あいさつ

図書館長 経営学部教授 前田 清隆



図書館と私の思い出

看護学部准教授 奥山 みき子



私の読書感

看護学部講師 青木 涼子



図書館マップ



S B W全学読書運動



# 図書館長 新年度あいさつ



前田 清隆  
経営学部教授

希望あふれる創価大学46期生、創価女子短期大学32期生を迎えて新年度がスタートしました。私も図書館スタッフ一同、決意新たに図書館運営に取り組んでまいりますので、よろしく願います。

私も、毎年行っている図書館利用者アンケートや皆さんからのご要望にお応えすべく改善・改良を心がけてまいりました。また本学の「Soka Book Wave」（創価大学全学読書運動）も定着し、昨年度はエントリー数<sup>408</sup>名、読書感想文などの投稿数<sup>835</sup>件にのぼり、他大学の図書館関係者との懇談の席でも話題となっています。

ネットの中で学生たちはディスカッションを行えるようになっていました。

アメリカ・アマースト大学のゲファート館長は、「あの大学には素晴らしい図書館があるから入学しようという学生が多くなる」と述べています。本学の中央図書館でも、開放的で議論可能なスペースを多数設置していますが、さらに魅力的な施設を目指してまいります。

若き日の読書を振り返るとき、創価高校での衝撃が忘れられません。当時、3歳下の創価中学1期生の国語の課題図書が『福翁自伝』『折たく柴の記』『阿Q正伝』と聞き、この人たちにはかなわない。「後世畏るべし」との感を強くしました。

学園創立者池田先生は、折に触れて読書の大切さを教えてくださいました。勉強の合間に高校の図書室で、また寮で『レ・ミゼラブル』『戦争と平和』『三国志』『水滸伝』など、世界的名著をワクワクしながら読んで感動は今も忘れることができません。長編の読了は難しいと思っていましたが、「厚み」や「深み」が感じられました。また平

こうした努力の積み重ねにより、朝日新聞出版が毎年発表している『大学ランキング2016年版』の中で、全国730大学の大学図書館ランキングにおいて本学の図書館は総合15位にランクされています。このランキングは、朝日新聞が実施したアンケート結果から、奉仕対象学生1人あたりの蔵書冊数、受入図書冊数、貸出数（学生）、図書館費についてそれぞれの最高値（最高値の大学の数値）を100とし、指数化したものですので、図書館の充実度を表すとともに学生の読書に対する評価結果でもあります。

先日、本学で現代マスコミ論を担当された著名な評論家の先生から、約1千冊の蔵書を図書館にご寄贈いただきました。先生は、「いくつもの大学に招聘され講義をしてきましたが、それらの中で、創価大学の学生さんが最も熱心であり、瞳が輝いていたことが印象的で、蔵書を寄贈するなら創

安時代から鎌倉時代に著された小説や随筆に没頭した時期もありました。それらを音読しながら「わび・さび」や「諸行無常」を考えさせられたものです。一方、高3の時に決意して日蓮大聖人の御書全集を読しました。小さな声での音読で意味はほとんどわかりませんでした。「諸行無常」の暗さ、弱さと比較して、何と明るく、力強い文章だと感じ取ることは出来ました。

本学の経済学部へ進むと、文学青年から経済人の道へと大きく舵を切りました。3年次に公認会計士試験を受験するため、簿記の検定試験をほとんど独学で突破する必要に迫られました。文学書に比べれば、簿記のテキストは無味乾燥です。しかし、簿記検定に満点合格するという目標が明確であり、高校時代の読書経験が生かされ、「わからなくなったら1ページ目に戻れ！」と決めて根気よく続けることが出来ました。

経済学や商法、経営学などでは「基本書」と呼ばれるテキストの精読が求められました。一回目は分からなくても通読、二回目は理解困難な箇所をマークして調査、前後関係を確認、三回目は頭に畳み込むつもり

創価大学に」との強いご希望によるとのことでした。大変にありがたく感謝申し上げますとともに、創大生の皆さんの素晴らしい素晴らしさを改めて賛嘆します。

私も、こうした高評価に甘えることなく、皆様よりいただくご意見、ご要望、他大学図書館の視察、海外の大学図書館情報などに基つき、創立50周年へ向けてさらに改革を進めてまいります所存です。

近年、大学図書館の役割が大きく見直されています。それは、大学図書館が学生の皆さんにとって単なる「学びの場」から「学び合い（協同学習）の場」になってきたことです。全国大学図書館協会の大会で訪問した、ある大学の図書館には、中央の大きな吹き抜けの空間に小ささまざまなプラネット（集団閲覧室）が、まるでキノコのように林立していました。アリスのワンダーランドを彷彿とさせる造りで、プラ

で通読、そんな読み方でした。

その後、目標どおり公認会計士試験に合格できたので、私の若き日の読書が大いに役立ったと感謝する次第です。

創立者池田先生は、随筆『読書は青春の宝』の中で語りかけられています。

「良書に親しめば、それがそのまま心の栄養となる。若き日の読書は、精神の血肉となり、人間性の骨格をつくる。読書し抜いた人が、最後に勝つ」と。

本年度も多くの皆さんが来館され、読書と思索、協同学習に図書館を大いに活用されるようお待ち申し上げます。



## 「図書館と私の思い」



奥山 みき子  
看護学部准教授

私が自分の本を貰ったのは、歴史まちづくりの本でした。父の2番目の弟で、当時小学校の教員をしていた叔父に買ってもらったと記憶しています。その時、とても嬉しくてワクワクして本を開いた事が思い出せます。

私は小さな農村の小学校に入学して図書委員になり、放課後図書室で毎日本を読んでいた。当時小さな図書室だったので、ほとんどの本を読破したのではないかと思います。特にアンデルセンとかグリム童話等外国の物語をドキドキしながら読みました。何故このような事を最初に紹介したかと言うと、私は小学校・中学校・高校で図

書委員であったこと、又前任の看護大学でも教員として図書委員をし、創価大に赴任して1年目から白樺図書館運営委員をすることになりましたので、何故か図書館に縁があるようです。確かに、叔父達（父の二人の弟）が共に小学校の教員だったことが影響したのかどうかは、何とも言えませんが、小学校時代から、家事の手伝い中に読み物を見つけるとそれに没頭して読みふけり、姉によく「また、そんなものを読んでいる」とよく叱られてばかりいたように思います。

創価大学看護学部の教員に着任し、中央図書館でのオリエンテーションを受け、館内を案内された時は感動しました。「私がいなかったら、（図書館にいいよ」と、同僚の教員に言っていました。前の職場は看護大学だったので、看護の専門書がほとんどでした。しかし、創価大学の中央図

書館は総合大学なのであらゆる分野の書籍があること、池田文庫があったのは驚き、感動の連続でした。毎日池田文庫に通い詰めて1日中読書が出来れば嬉しい限りですが現実、そうはいきません。

現実、読みたい本というより、教育や研究に関する書籍がどうしても優先順位が高くなります。今回その専門書で最近私が非常に注目した書籍を紹介いたします。

1冊目は大塚邦明著『病気になるための「時間医学」へ生体時計の神秘』を科学する』2冊目は板橋家頭夫／松田義雄編集『DOHAD（ドハーッド）―その基礎と臨床―』です。時間医学については、既にSUN「創価大学ニュース2014 Summer 82」で紹介させて頂きました。1972年に生体時計が脳の視床下部にある事、1997年に生体時計は時計遺伝子の働きで時を刻む事が発見されました。

この発見により、生体リズムは宇宙のリズムに適応していることが明らかになりました。一方生体時計の乱れた状態は時差ぼけや三交替勤務の例でイメージできると思います。生体リズムの乱れは、生活習慣病との関連がある事や時計遺伝子異常が癌の原因になる事も明らかになりました。この生体リズムを守るためには、①朝の時間帯に太陽光をあびる、②朝食の時間を一定にする、③適切な睡眠時間の確保と起床時間を一定にする、④朝に緑茶やコーヒーを飲む・グレープフルーツを食べる、⑤朝の散歩で交感神経を緊張させる、⑥社会活動が続けて規則的な生活リズムをつくる等をするのが良いそうです。

今回は、『DOHAD（ドハーッド）』を紹介します。「序文に…DOHAD説とは、子宮内あるいは出生後早期の環境に依拠してプログラミングされ、発達完了期の環境がプログラミングされた時期の環境と異なっていれば生活習慣病などの発症のリスクが高くなり、類似していればリスクが低くなるという考えである…」とあります。」

1. 妊娠前の栄養とDOHAD…我が国の

2500g未満の低出生体重児の割合が10%にも達しており、この背景には20歳・30歳代の女性のやせの比率の増加があります。低出生体重との関連が明確な疾患として高血圧、冠動脈疾患、2型糖尿病、脳梗塞、脂質代謝異常、血液凝固能の亢進があげられます。

2. 妊娠中の栄養と胎児発育…胎児期（妊娠中）に低栄養に曝された子宮内胎児発育遅延児では、周産期罹病率や周産期死亡率が高くなり、成人後に肥満、2型糖尿病、高脂血症、高血圧、心臓血管傷害などの生活習慣病のリスクが高くなることがBarkerらの疫学的研究や動物実験で示唆され、成人病胎児期発症説が提唱されました。妊娠中の低栄養など過酷な子宮環境に適応する過程でそれぞれの発達中の臓器の遺伝子発現がエピジェネティックな調節を受けることによる。この現象は胎生期の子宮内環境が発達中の胎児臓器に様々な機序によって刷り込まれることによると考えられ、胎児プログラミングと呼ばれる。

字数の関係で全てを紹介できませんが、最後に私が注目した理由を述べたいと思います。

まず。私は昭和46年に保健師の資格をとり、住民に対して保健指導を行う業務に携わってきました。妊産婦には適切な栄養指導、成人には規則正しい食事や生活習慣の大切さを指導してきました。但し、当時は指導の科学的根拠となるものはなかったのです。この科学的という根拠を説明するところが如何に大事か実感した事があります。幼児や小学生を持つお母さんに規則正しい生活の大切さ、すなわち「睡眠時間の確保、朝は余裕を持って起こし朝食をとる事の大切さ」を話した時に、「ある小学校で就寝時間は十分な睡眠時間を確保すること、朝食は必ず摂り、余裕を持って学校に来る事で、小学校の全体の偏差値が上がった」という話をしたら、お母さんたちの聞く態度が変化し、強い関心を示したからです。保健指導には科学的根拠が必要と痛切に感じました。という点で、この『時間医学』と『DOHAD』は保健師の私にとって、医学や科学の発展の重要性を考えさせられた書籍なのです。



## 「私の読書観」



青木 涼子  
看護学部講師

私は、毎日読書をする生活を送っているわけありませんが、私の人生の傍らには、いつも読書という時間が存在していました。

3歳のときには、絵本のわからない文字を一字一字、何度も母に聞きに行きながら読んでいました。小学生のときには毎日のように図書館に通い、クラスで一番、本を借りた生徒として表彰されました。特にナイチンゲールの伝記本は、粗筋を詳細に口述できるほどに何度も読みました。

中学に入ると、あまり本を読まなくなりましたが、高校に入ってから学業が疎かになるほど、講談社の『赤毛のアン』シリーズ

ズを読みふけりました。大学に入ると、大学の図書館が高校までの図書館とは違い、専門性を追求するための図書館となることに戸惑いを感じ、また本を読まなくなったのですが、『赤毛のアン』の洋書を借りて、辞書を引き引き読んだりしました。

大学院に入っても、読むことを楽しむという意味での読書はあまりしていないのですが、論文作成のため、毎日21時から翌日の3時まで、6時間、勤務先の図書館で、看護や医学の歴史書を読みふけていました。この時、私は既に大学の教員でしたが、すれ違う学生達には、「先生、まだ帰らないのですか？かわいそうすぎる!!」のような声をかけられたものでした。

現在に至っても、決して読む本の量は多くはありませんが、読むときは数時間、ぶっ続けで読みます。1日中、本を読んで過ごすこともありますし、英語の本以外はベッ

ドの上で読むことも多いです。英語の本は、眠りのバイブルとなりますから。また、大学の授業がない春季・夏季休暇には、話題になった長編小説や大衆小説などを借り、読むのを楽しみにしています。新聞の連載小説も好きで、これを楽しみに購読している新聞もあります。

このように、私の読書時間は決して多くはないのですが、読書を生活に取り入れると、様々な利点が得られます。私の場合は、本を読むとカラカラに乾いた生活というスポンジに、水が浸み込んでいくように潤いがもたらされる感覚を覚えます。高校時代の私は、勉強することが無意味に思えたり、自分に自信が持てなかったりと、ぼんやり一日をやり過ごしていたのですが、友人が『赤毛のアン』を食るように読んでいたのを思い出し、読み始めました。

本の中のアンは、生活の拠点を転々とし、愛情に飢えたそれまでの生活を前向きに受けとめ、聡明に生きていましたし、沸き起こる危機も、空想を思い巡らすことで乗り越えていくのです。私はその姿にとっても感動しました。私もアンのようにと、空想してみるのが上手いきません。しかしながら、不思議と嫌に思うことが何ともなく思えたり、自分にも良いところが沢山あると思えたりと、生き抜く勇氣と希望を見出せた瞬間が多々ありました。

今の私は、違う悩みを抱えています。アンは、アンを生きる方を思い出すと、当時のように勇氣と希望が湧き、前向きになれる自分がいいます。アンに出会ってなければ、今の私は存在しないかもしれません。アンは、私に人生の指針を与えてくれたと言っても良いでしょう。

それから、読書をすると言葉に敏感になり、興味が湧くようになりました。読めない漢字や意味のわからない言葉は、常に持ち歩いている愛用の小型電子辞書で、その都度と引かずにはおれません。また、私は

職業柄、自分の考えを論文にまとめることが必要です。論文を書く際には、自分を少し高みに置き、高尚な気分を書くという、私は指導されました。読書をしていて、高

尚だと感じた言い回しは書き留めておき、論文に使用してみたりします。

そうとはいえ、経済面や時間の問題で読書に取り掛かれない人もいます。

まずは、本は買わずに図書館で借りましょう（前任校の図書館より、創大の図書館は読書向けの本が多く収容されていると感じます）。テレビやネットサーフィンの時間を読書に当てましょう。本を読むことに苦手意識がある人は、上橋菜穂子の『守り人シリーズ』のようなファンタジー小説を紐解き、自分で情景を思い浮かべながら読み進めることが、いかに胸が躍り、ワクワクするのかを体験することから始めましょう。ラジオの朗読番組も、このことが体験でき、読書の入り口となるはずです。私も、今『守り人シリーズ』の主人公バルサを思い浮かべ、胸が高鳴るようで、また読書がしたくなりました。しばらくは、次の休暇に読み

ふける本を探したいと思います。





## 知の殿堂 中央図書館

所蔵図書約 100 万冊を誇る創価大学の知の殿堂。それが中央図書館です。各学部の学習・研究に必要な図書をはじめ、新書や文芸書、芸術書などその蔵書は多岐に渡ります。

中央図書館は豊富な蔵書だけではなく、施設の面でも学生の学習をサポートしています。1 階にはグループでのディスカッションなど、話しながら学習できるラーニング・コモンズを設置しており、昨今の学生の学習形態の変化に対応し多様な学習環境の提供を行なっています。

また、一般には館内での飲食や私語が禁止の図書館が多い中、中央図書館内には飲食や雑談ができるブラウジングルームを設置しています。ブラウジングルームは勉強の合間や友人との待ち合わせなど利用者の憩いの場として、図書館でも一、二を争う人気のスポットとなっています。

この他にも中央図書館には個別学習室や DVD 視聴コーナー、グループ学習室など、学生からの人気の高い施設・設備が数多くあります。中でも創立者池田大作先生が若き日から集められた図書 7 万冊が収められている「池田文庫」は、中央図書館の心臓部ともいえる場所です。創立者が 7 万冊に込めた学生への想い、読書への想いをぜひ手にとって感じてください。



## 理工学部生を支える フレイザー図書館



正門を入ってすぐ右手に見えるのが理工学部 (E) 棟です。その理工学部 (E) 棟の 1 階に理工学部フレイザー図書館があります。工学部 (当時) の開設と共に設置されたフレイザー図書館ですが、理工学部生以外の学生も中央図書館と同様に利用できます。

フレイザー図書館の名称は、1990 年に本学を訪れ創立者と会見されたイギリス・グラスゴー大学のウィリアム・フレイザー学長 (当時) に敬意を表し「フレイザー図書館」と命名されました。

理工学部ならではの電気や生物学、環境関連の書籍が豊富に揃えられています。なかには真空管アンプの作り方やアマチュア無線など趣味性の高い理工系書籍もあるので、興味のある方はぜひフレイザー図書館へお越しください。



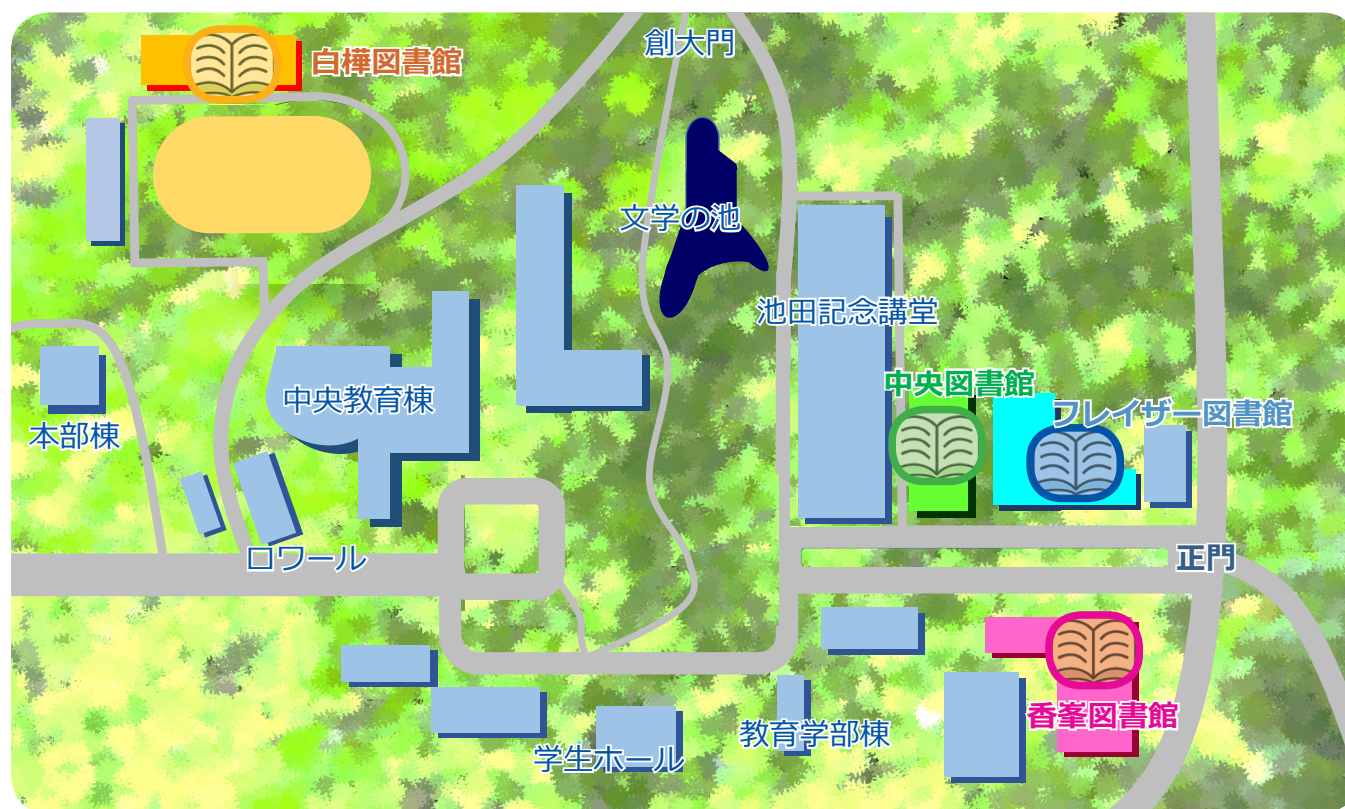
## 乙女の知性を 香峯図書館

創価女子短大の附属図書館である香峯図書館もご紹介いたします。

女子短大校舎 3 階にある香峯図書館は約 8 万冊の蔵書があり、約 330 タイトルの雑誌や DVD などの視聴覚資料がそろっています。特に短大 17 期生寄贈の「17 期生文庫」と古今の名著を集めた「プリンセス文庫」は人気のコーナーで、多くの短大生に利用されています。短大生以外の方は残念ながら直接来館しての利用はできませんが、図書館の検索システム上から貸出申請をすることで、中央図書館を通して香峯図書館の図書を利用することができます。(視聴覚資料や雑誌など利用できないものもあります)



# 創大図書館マップ



## 創価大学図書館指針

- |  |         |  |
|--|---------|--|
| 一、読書は                                      | 黄金の輝き   | Reading is a golden light.                             |
| 一、読書は                                      | 勝利者の源泉  | Reading is a wellspring for achievers.                 |
| 一、読書は                                      | 幸福の伴侶なり | Reading is a companion of happiness.                   |
| 一、読書は                                      | 偉人への道   | Reading opens a path to greatness.                     |
| 一、良書を読め                                    | 悪書を叩け   | それが正義の人なり Reading good books and challenging bad books |
| —this is the way of a champion of justice. |         |  |



## 命の学び舎 白樺図書館

白樺図書館は 2013 年の看護学部開設の際に看護学部専用図書館として設置された、創価大学にある図書館では一番新しい図書館です。看護・医学系の図書や学術雑誌をふんだんに取り揃え、看護学部が押し進める「グローバルな視点をもった看護師」の養成をサポートしています。

蔵書は看護・医学系の図書が中心となっていますが他学部生も利用できます。

他学部生は中央図書館のように学生証を使つての入室ができないので、入室の際には入口にあるインターフォンでお知らせ下さい。







# Soka Book Wave 2016



創価大学・創価女子短期大学 全学読書運動

★開催期間★ 2016年4月1日～2017年1月20日

## Soka Book Wave(SBW) とは...

創価大学全学読書運動・Soka Book Wave (SBW) は、2004 年度より図書館と学生諸団体が協力して実施してきた、全学的な読書運動です。創立者が提唱される「活字文化復興」を実現するため、創価大学、創価女子短期大学から「読書の波」を起こそう、との学生の熱意で始めました。SBW は学生有志と図書館職員で構成する Soka Reading Project (SRP) が企画・運営をしており、読書感想文の他にも、広報活動、展示企画、創大祭での読書展、特別講演会、ビブリオバトルの開催など、精力的に活動を展開しています。

## 参加して読書感想文を提出するには...

SBW に参加するには、まず新規ユーザー登録を行いシステムにログインします。

(新規ユーザー登録 URL : <https://lib.soka.ac.jp/SokaBookWave/entry/kiyaku.php>)  
イベント一覧から開催中の SBW にエントリーをし、読書した図書の感想文やショートレビュー、書評の提出などに挑戦します。感想文が承認されると1件ごとに1ポイントが付与され、

5ポイント貯まると図書カード(500円分)を1枚進呈します。

## 読書する本は何でもよいか？...

図書館の本だけでなく、自宅にある本でも結構です。ただし、次のものは対象外です。感想文を提出しても却下となります。①漫画、②辞・事典 ③写真集 ④パンフレット・小冊子(100頁未満) ⑤就職・資格試験等案内書 ⑥雑誌。  
※中央図書館2階に、「SBW 推薦図書コーナー」がありますので、是非参考にしてください。

## 各種講座への参加ポイント制度も...

以下の「各種講座に参加」することにより、SBW のポイントを付与致します。

- ★ SPACe (総合学習支援センター) 主催の講座
- ★ SRP 主催の講座やイベント

## 創立者の入学式メッセージで紹介された図書

第46回創価大学入学式に寄せられた創立者のメッセージで以下の図書が紹介されました。

「金銭糞土の如し：于右任傳」西出義心著；木内ひとし編／書道芸術社／2012.6

※上記図書は、中央図書館で借りることができます。閉架書庫(請求記号：289 / U 11)(入庫資格が無い方は、蔵書検索で出庫依頼をして書庫利用カウンターにお越し下さい)



## SBW 推薦図書 貸出ランキング

(集計期間：2015年4月～2016年3月)



- 1位：創立者の語らい / 池田大作著；創価大学学生自治会編
- 2位：学は光：文明と教育の未来を語る / ヴィクトル・A・サドーヴニチ著；池田大作著
- 3位：二十一世紀への対話：対談(上) / 池田大作著；アーノルド・トインビー著
- 4位：老人と海 / ヘミングウェイ〔著〕；福田恆存訳
- 5位：幸福抄 / 池田大作著

## SBW キャラクター

SBW のキャラクターは学生有志の SRP が創り出しました。SRP になると、展示企画や創大祭での読書展、特別講演会などの企画・運営に携わることができます！



マンガン



ブックン



めくるん

## 開館日程

通常開館時間 8:30-21:00

→10:00-19:00

→10:00-17:00

→9:00-21:00

→休館日

4 月						
日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

5 月						
日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

6 月						
日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

## 書庫利用講習会開催日程決定！

学生の皆さんは書庫内の資料を利用する際には、検索機から目当ての資料の出庫依頼をしてスタッフに資料を取りに行ってもらわなくてはなりません。ですが、この書庫利用講習会を受けることで直接書庫内に入り資料を探すことができるようになります。閲覧室に所蔵されている図書約 30 万冊に対して、書庫内の資料数は約 70 万冊！中央図書館の知の宝蔵ともいえる書庫内に入れるようになるチャンスをお見逃しなく！

5 月 16 日（月） 17:00 - 18:00  
 5 月 17 日（火） 17:00 - 18:00  
 5 月 18 日（水） 13:30 - 14:30  
 5 月 19 日（木） 17:00 - 18:00  
 5 月 20 日（金） 13:30 - 14:30

6 月 13 日（月） 13:30 - 14:30  
 6 月 14 日（火） 13:30 - 14:30  
 6 月 15 日（水） 17:00 - 18:00  
 6 月 16 日（木） 17:00 - 18:00  
 6 月 17 日（金） 17:00 - 18:00

7 月 11 日（月） 17:00 - 18:00  
 7 月 12 日（火） 17:00 - 18:00  
 7 月 13 日（水） 13:30 - 14:30  
 7 月 14 日（木） 17:00 - 18:00  
 7 月 15 日（金） 13:30 - 14:30



参加希望者は図書館WEBサイト、トップページの「各種講習会の申込受付」からエントリーしてください。

また、4 月 18 日～5 月 30 日の期間中、毎週月曜日の 13:30～14:30 に、事前予約なしで当日受付で参加できる講習を行ないます。講義等で講習会の時間に参加できない方はこちらにご参加ください。